

## 会長あいさつ

やわらかな春の日差しがこちよく感じられる季節になりました。

平素より永平寺町観光ボランティアガイドの会にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は改元の年、4月には新元号が決まり、5月には即位等々記念すべき年になります。昨年は50年ぶりに福井県でしあわせ元気国体、福井しあわせ元気大会で天皇・皇后杯1位と素晴らしい結果でした。

わたしも当会としてはJR西日本「ふくのね」への掲載などで、各地いろいろな方にご案内することができました。また、県のおもてなし認定試験なども積極的に挑戦し、やる気十分な仲間ばかりです。

さて、4年後には北陸新幹線の敦賀延伸を控え、多数の県外人や外国人が来町することが予想されます。その中で観光ボランティアガイドの役割は大きなものとなりますので、焦らず着実に勉強していく必要があるかと思っています。

これからも当会に変わらずご支援を賜り、ぜひ会へのご入会もおすすめしたく、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

永平寺町観光ボランティアガイドの会 会長 吉田 静子

## 北陸大会に参加して

9月27日にボランティアガイド「北陸大会 in 高岡」が開催されました。前日から心配していた雨もやみ、一度も傘をひらくことなく良い日に恵まれました。

集合場所から人口17.5万人の城下街へと出発しました。ほどなく高岡城公園に着き、広大な趣のある公園で特に目を奪われたのが高岡開町の祖である前田利長公の4.33mのビッグな兜をかぶり白馬にまたがる凛凛しいお姿でした。

公園をひと回りすると、突然目の前にかの有名な高岡大仏が姿を現しました。鋳物のまち高岡を象徴する大仏は全長15.85mで、台座を除いた座高は7.43mと、見る人を圧倒するほど立派な大仏でした。利長公と双壁をなす高岡のスーパーヒーローだそうです。高岡は町民たちによって文化が受け継がれてきた町です。歴史物語は「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡 人・技・心」として文化庁より日本遺産に認定されました。

特筆すべきは高岡は奈良、飛鳥と並ぶ万葉の地です。万葉集は世界に誇る文化遺産です。その編集の要となったのが大伴家持です。家持は746年に28歳で国司として越中の国府に赴任。その任期中に多くの歌を残し中央の文化の薫りを広めました。

その文化を現在大切に守り続ける町民の心の豊かさに触れることの出来た今回の研修でした。最後に交流会で北陸三県の楽しい話題に花が咲き、来年の開催地福井市での再会を約束して、閉会となりました。

(西 芳子)



観光ボランティアガイドの会の事務局のあります、永平寺町観光物産協会では、公式Facebook、Instagramで永平寺町の観光・物産の最新情報をお伝えしています。

いいね！フォローをおねがいします！

永平寺町観光物産協会

検索



## 県外先進地の視察に参加して

### 倶利伽羅峠の古戦場をたずねて



10月に石川県津幡町・富山県小矢部市を訪ね、「つばたふるさと探偵団」の皆様により倶利伽羅峠のガイドをしていただきました。

倶利伽羅峠は、富山県と石川県の境にある古戦場であり、平安末期に源氏と平家の源平合戦があった場所です。源氏総大将木曾義仲軍4万と平家大将平維盛軍10万の戦いは、夜襲をかけた源氏方が大勝利となりました。敗走した平家の兵は地獄谷に落ち、二千騎ほどとなったそうです。平家の死骸の山となった谷底の溪流は、膿川うみかわとよばれています。

都を立つときの華やかさに比べ、鎧は破れ矢尽き兵はわずかでありました。

また、平家方の斎藤実盛が討たれたのはこの後篠原の合戦でした。老いた斎藤実盛は白髪を黒く染めて戦いましたが源氏方の手塚太郎光盛に討ち取られたそうです。その首を池で洗ったとき、義仲が幼い時命を助けられた実盛の顔と知り深く悲しみ、遺骸を手厚く葬って実盛塚を建てました。その池は首洗いの池と呼ばれており、小松市多太神社には実盛の兜があり伝わっています。

源平合戦を偲んで江戸時代この地を訪れた松尾芭蕉は「むざんやな かぶとの下の きりぎりす」と句を詠んだのであります。  
(長谷川 三女子)

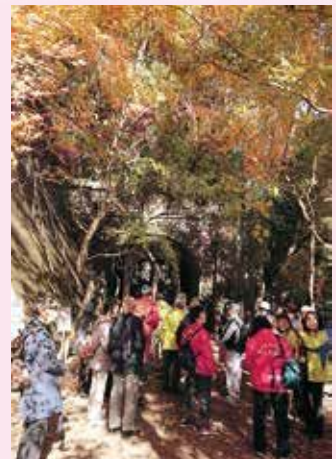
### 愛岐トンネルでの研修会

平成30年度県外先進地視察研修会が、愛知県春日井市にて11月27日に行われました。「NPO法人愛岐トンネル群保存再生委員会」による現地案内研修と意見交換をしました。

日本三大廃線トンネル群の一つで紅葉の時期でもあって（秋の特別公開）沢山の人が来ていました。庄内川に映る紅葉は、何とも言えない美しさでした。

中央西線の高蔵寺～多治見間は、明治の昔に開通して昭和41年に廃線となりました。旧中央線の軌道敷と13基のトンネルが眠っています。愛岐トンネル群保存再生委員会は、その内の4基の赤レンガトンネルと廃線敷を地域の貴重な遺産とし管理しています。

福井県から40名、町のガイドからは4名が参加しました。とても有意義な研修会でした。  
(平林 甚一)



### コラム 齊川嘉三之碑

—教育と疫病予防に貢献—

光明寺白山神社の正面の階段を登った右手（西側）、桜木の隣に四方を大きな石に囲まれ高さ約2メートルの笏谷石の「齊川嘉三之碑」があります。光明寺村に生まれ、若い頃から学問に秀でており後に教員として近隣の子供達の教育向上に尽しました。一方、疫病予防や病人の救助を行いながら感染防止にも情熱を注ぎ、それらの重要性を訴え続けました。残念ながらその才能を生かすべく道半ばの明治19年に疫病のため70歳で亡くなりましたが、冥月時に得々と疫病予防の重要性を語ったと言われています。

このような功績への下賜金を基に、明治21年9月に地域の有志8名によって、追悼・顕彰の碑が建立されました。地域にこのような立派な人物がいたことを多くの人に知ってもらい、石碑も未長く維持したいものです。石碑の裏面には、「散りし後も、名誉朽もせぬ、紅葉かな」という遊閑ゆうかんの句が刻まれています。

### 福井県おもてなし認定試験に合格しました！

平成29年、30年度に行われた県おもてなし認定試験に昨年に引き続き、当会から4名（長谷川、西、前川、藤田）が合格しました。県内観光の幅広い知識をガイドに役立てていきたいと考えています。

### ボランティアガイド 承ります！

当会では、町内の歴史文化の説明を聞きながらまちあるきをするガイドを随時承っております。お気軽に事務局までお問合せください！個人、団体問わずお申込みお待ちしております！

事務局 （一社）永平寺町観光物産協会

TEL：0776-61-1188 Mail：info@eiheiji.jp